

理論や単なる解説ではわからなかったことが、

今、このDVDを見た瞬間、理解される!

ためになります!

12種類の楽器
藝大の先生方が、身振り手振りで解説する実践指導。

- ☆パート別楽器の理解と奏法
- ☆アンサンブルの基本と楽しさ
- ☆吹奏楽に新しい音楽表現の可能性を
- ☆楽器を知り、姿勢・呼吸法の基本から、演奏で魅力ある音楽表現ができるまで



◆奏法と楽しさ実感
来る日も来る日も“音楽”と“音”に向き合って、実践指導をしている先生方の解説は具体的に的を得た表現なので、誰もが納得でき、音楽の楽しさに魅了されます。
先生の他に奏法やアンサンブル演奏に、藝大卒業生・大学院生・学生の出演もあり、中・高校生には「あこがれ」+「教則本」になります。

◆楽しい合奏(生徒)
顧問の先生が求めている演奏をするには、パート別楽器の知識と基本的奏法の習得が不可欠です。
「習得の近道」は、目と耳からのイメージを“真似る”ことから始まります。DVDの“奏法解説”を見て、実際に自分でもやってみるのです。イメージと自分の答えとの違いに必ず気づきます。なぜ、どうしてなのか改めて繰り返し見て“真似る”ことで理解されるでしょう。
全ての練習を毎日するのは大変ですが、自分に有効な練習法を見つけ続けることが大事です。
<うまくなる=団結=先生のイメージ>



●フルート
神田 寛明
東京芸術大学音楽学部 講師
(NHK交響楽団首席奏者)
1993年東京芸術大学卒業。
1995年ウィーン国立音楽大学に留学。1991年、第5回日本フルートコンベンションコンクール、第8回日本打楽器コンクール、第1位。1992年ソウル ショリヴェのフルート協奏曲を韓国初演。安宅賞受賞。赤星恵一、金島国、細川順三、フォルツァン・シュルツ、ハンスゲオルグ・シュマイザーの各氏に師事。現在NHK交響楽団首席奏者。東京芸術大学(室内楽・フルート)、武蔵野音楽大学講師。The Flute Quartetのメンバーとして2枚のCDをリリース。多くのフルートアンサンブル作品を編曲。バンドジャーナル誌にも掲載。



●クラリネット
三井 秀実
東京芸術大学音楽学部 講師
(東京都交響楽団首席奏者)
10歳の頃からクラリネットを始め、小島昭二、後の大橋幸夫の各氏に師事。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を経て、'89同大卒業。安宅賞受賞。大学院ではデトモルト音楽大学のヨースト・ミハエリス教授の約1か月に及ぶ集中講義をきっかけにMax REGGERのクラリネット作品についての研究を行う。学内において村井祐児、鈴木良昭の各氏にクラリネットを、室内楽を山本正治、海津正毅の各氏に師事。'91大学院修了と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団しソリストとして同交響楽団との共演も数回に及ぶ。日本音楽コンクールの他、数々のクラリネット部門のコンクール審査員も勤める。



●オーボエ
成田 恵子
東京芸術大学音楽学部 講師
東京芸術大学附属音楽高校より同大、北島孝、小島葉子、小畑善昭の各氏に師事。在学中に第4回日本打楽器コンクールオーボエ部門入選。東京国際音楽コンクール室内楽部門に木管三重奏入選。卒業後渡独、シュトゥットガルト音楽大学でインゴ・ゴリツキー氏に師事。1993年から1995年まで東京交響楽団オーボエ奏者を務める。その後、フリーのオーボエ奏者として、室内楽、オーケストラ等で演奏活動。1999年より霧島国際音楽祭に出演。又、ルヴァンヴェール木管五重奏団のメンバーとして2枚のCDを発売中。ALM Records(コジマ録音)より「パナシェALCD-3035」「タファネル&シェーンベルクALCD-3053」現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団オーボエ奏者。



●ファゴット
岡崎 耕治
東京芸術大学音楽学部 講師
(NHK交響楽団首席奏者)
16歳よりファゴットを始める。武蔵野音楽大学卒業後、東京交響楽団に入団。1974年ドイツ デトモルト北西ドイツ音楽アカデミーに留学。1976年デトモルト国立音楽大学(ドイツ)を全員一致の首席で卒業。1978年帰国し、NHK交響楽団に首席奏者として入団。以後多くの内外演奏家との共演。ソロ、コンチエルト室内楽で活躍。第16回「有馬賞」受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務める傍ら、東京芸術大学、武蔵野音楽大学、エリザベト音楽大学、尚美学園にて後進の指導。



●サクソフォーン
富岡 和男
東京芸術大学音楽学部 講師
東京芸術大学卒業。坂口新、大室勇一の各氏に師事。卒業特別演奏会、NHK新人演奏会に出演。第38回日本音楽コンクール第1位入賞。リサイタル、オーケストラ、吹奏楽との共演。録音など幅広い演奏活動を始める。サクソフォーンクォルテット「キャトル・ロニー」主宰。ワールドサクソフォーンコンgres日本代表としてフランス、アメリカ、ドイツ、日本、イタリアにて演奏。NHK交響楽団、読売日本交響楽団など、オーケストラの奏者としても活躍。日本打楽器コンクール、ジュネーブ国際コンクールの審査員、世界サクソフォーン評議会委員、等を歴任。東京芸術大学の他、洗足学園大学教授、作陽音楽大学講師、日本サクソフォーン協会事務局長、運営委員。



●トランペット
杉本 肇夫
東京芸術大学音楽学部 教授
東京芸術大学トランペット科卒業。パリ政府給費生としてパリ国立高等音楽院に入學。モーリス・アンドレに師事。卒業後、パリ音楽院のオーケストラ。さらに1972年の10月に国立リヨン管弦楽団に入団。3年リヨンにいて帰国。帰国後、札幌交響楽団で11年間首席奏者、ソリスト、室内楽奏者として活躍。現在は小澤征爾音楽監督の水戸室内管弦楽団の契約員。帰国後、全国音楽コンクール、第11回日本打楽器コンクール第4位、他。卒業後オランダのマーストリヒト音楽院に入學。'98卒業。第67、71回日本音楽コンクール入選。これまでに三好隆三、山本真、守山光三、松崎祐、E.ベンツェル、W.サンダースの各氏に師事。



●トロンボーン
栗田 雅博
東京芸術大学音楽学部 講師
(NHK交響楽団首席奏者)
1979年東京芸術大学音楽学部卒業。翌年西ベルリン国立音楽学校入學。1981年ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団の契約員。帰国後、全国音楽コンクール、第11回日本打楽器コンクール第4位、他。卒業後オランダのマーストリヒト音楽院に入學。'98卒業。第67、71回日本音楽コンクール入選。これまでに三好隆三、山本真、守山光三、松崎祐、E.ベンツェル、W.サンダースの各氏に師事。



●ホルン
堂山 敦史
東京芸術大学管弦楽研究部 講師
東京芸術大学附属音楽高校を経て、'95東京芸術大学音楽学部卒業。翌年西ベルリン国立音楽学校入學。1981年ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団の契約員。帰国後、全国音楽コンクール、第11回日本打楽器コンクール第4位、他。卒業後オランダのマーストリヒト音楽院に入學。'98卒業。第67、71回日本音楽コンクール入選。これまでに三好隆三、山本真、守山光三、松崎祐、E.ベンツェル、W.サンダースの各氏に師事。



●ユーフォニアム
石橋 美奈子
東京芸術大学音楽学部 助手
エリザベト音楽大学 講師
東京芸術大学卒業。大学院を修了後、パリ国立高等音楽院に留学し、フルシェ・プリで卒業。その後、同音楽院第3課程(最高課程)を初のユーフォニアム専攻生として修了。留学中金管五重奏団<パリ・ミス・ブラス・クインテット>のメンバーとしてフランス国内外でコンサート活動を行う。フランス国営ラジオ放送の音楽番組にも出演。第12回日本打楽器コンクール入選。第15回同コンクール第3位。三浦徹、大石清、安元弘行、福川栄一、フェルナン・ルモンの各氏に師事。'00年3月ソロリサイタルを行う。



●チューバ
近藤 周一
東京芸術大学音楽学部 大学院
スーラシアンブラスのメンバー
9歳からチューバを始める。'01年国立音楽大学を首席で卒業。卒業時に谷田部賞受賞。卒業演奏会に出演。ヤマハ金管新人演奏会に出演。現在東京芸術大学音楽学部大学院に在学中。福川栄一、柏田良典の各氏に師事。海上保安庁音楽隊技術指導 講師



●打楽器
有賀 誠門
東京芸術大学音楽学部 教授
幼少の頃からヴァイオリンとピアノを習い、16歳からパーカッションを始める。東京芸術大学とニューイングランド音楽院に学び、故郷村征男、V-ファースト氏に師事。21歳でN響入団。18年間ソロティンパニスト首席奏者。1960年東京パーカッションアンサンブルを創立。打楽器界発展の先駆をなす。リズムニストとして「上の発想、下の発想」のリズム観を提唱し、実践を続け、1973年、1977年芸術祭優秀賞受賞。



●コントラバス
永島 義男
東京芸術大学音楽学部 助教
東京芸術大学卒業。学内にて安宅賞を受賞。第26歳の時母校東京芸術大学からの誘いで後進の指導という重責を担う。ソリスト、室内楽奏者として古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち内外の著名なアーティストとも数多く共演。現代作品にも積極的に取り組み邦人作品の初演なども数多く行っている。1986年、コントラバス奏者として初めて第4回中島健蔵音楽賞を受賞。水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ東京、アンサンブルofトウキョウサイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。現在、東京音楽大学、沖縄県立芸術大学、桐朋オーケストラアカデミーの講師、北京市中国音楽学院客員教授として後進の指導。

編集映像は、簡潔で的確に理解し易いように、同一画面で複数画像の視聴、テロップ解説、CG画像、イラスト画像などを随所に駆使!

パート別楽器の理解と奏法(約60分) DVD収録のPDFファイル=印刷できます。 指導名の下段=大学外の活動や役職(制作時)

いつまでも不変[基礎・基本]からの奏法 中高生のために熟考された究極の指導内容

フルート

指導: 神田 寛明
NHK交響楽団首席奏者

1. 楽器について
 - フルートとは
 - 楽器について
2. 音を出す
 - 楽器の構え方
 - アンブシュアと散口の当て方
 - 呼吸における注意点
 - 音を出してみる
3. 基本練習
 - ロングトーン
 - 難しいスケール・アルペジオ
 - タンギング
4. ステップアップ練習法
 - 難しい部分の克服方法=物事は易いところから(分割・低音・反復)
 - 自分の先生は自分(常に自分の演奏に注意して)

楽器の組み立て方・音の出し方から始まり構え方、ロングトーン、タンギングなどのフルート演奏の基礎を中心に、個人で練習する場合の注意点や難しい部分の克服方法なども解説。



★PDFファイル収録: 1.ロングトーン① 2.ロングトーン② 3.間違った息遣い 4.タンギングの練習 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲の楽譜—C.DEBUSSY [Sympny]

ファゴット

指導: 岡崎 耕治
NHK交響楽団首席奏者

1. 楽器について
 - ファゴットとは
 - 楽器の組み立て方
 - 楽器の手入れと調整
2. 音を出す
 - 構え方
 - 音の出し方、止め方
 - アンブシュア
 - 呼吸法
3. 基本練習
 - ロングトーン、スケール、タンギング
4. ステップアップ練習法
 - 音色
 - 息の量のコントロール
 - フレーズの扱い方、歌い方
 - スムーズな運指
5. 陥りやすいミスの修正法
 - 楽器のトラブル
 - 基本的な奏法

中学、高校生そして先生方がより身近にファゴットを感じられるために、そしてスムーズに上達するために、分かりやすく初歩から説明します。



★PDFファイル収録: 1.スケール練習/スラー/ホルター/アクセント 2.スタカート/フレーズの扱い方/歌い方 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲の楽譜—J.S.BACH [Sechs Suiten für Violoncello solo 第3番より]

トロンボーン

指導: 栗田 雅勝
NHK交響楽団首席奏者

1. 楽器について
 - トロンボーンとは
 - 楽器の種類
 - バストロンボーン
2. 音を出す
 - 楽器の構え方
 - 音の出し方
 - 楽器の持ち方
 - 7つのポジション
 - 呼吸について
3. 基本練習
 - ロングトーン
 - タンギング
 - 二分音符
 - 四分音符
 - 八分音符
 - スタカート
 - テヌート
 - レガート(リップスラー)
4. ステップアップ練習法
 - 教則本による練習

耳で聞いて目で見て、トロンボーンを吹くための良いイメージをしっかりと身に付けよう。必ず毎日トレーニングすべき内容を分かりやすく説明。トロンボーンが上手になれば素敵で楽しくかっこいい。


★PDFファイル収録: 1.7つのポジション 2.唇練習 3.タンギングの練習① 4.タンギングの練習② yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—5曲使用 1.R.WAGNER[Rienzi, Letzte der Tribunen] 2.R.WAGNER[Tannhäuser und der Sängerkrieg auf Wartburg] 3.R.WAGNER[Die Walküre] 4.R.WAGNER[Die Meistersinger von Nürnberg] 5.R.WAGNER[Lohengrin]

打楽器

指導: 有賀 誠門
教授、芸術祭優秀賞受賞

1. 楽器を持つ前に
 - 打楽器とは
 - 音の出る仕組み
 - イスでリズムをとる
 - リズムを定めて表現する
 - 腕を振り上げる
2. ティンパニー
 - ティンパニーとは
 - 叩き方
 - 振動の止め方
 - バチの代用で音色を変える
 - 効果的練習法
 - ヒモを張る
 - 位置の確認
3. 大太鼓
 - 大太鼓とは
 - チューニング
 - 効果的練習法
 - バチの持ち方
 - 手で打つ
 - 振動の止め方
 - 小太鼓とは
 - チューニング
 - セッティング
 - バチの持ち方
 - 打つ位置
 - 基本練習 1つ打ち、ロール打ち
 - バチの代用で音色を変える
 - リズム感 1
 - 効果的練習法
 - リズム感 2
 - 歩きながら打つ
4. 小太鼓
 - シンバルとは
 - 持ち方
 - 基本奏法
 - ロール打ち
 - マリмбаとは
 - マレットの持ち方
 - 打つ位置
 - 効果的練習法
 - 大きさに慣れる
 - オクターブで打つ
 - 隣同士を打つ
 - 半音階
 - バチを片手に2本持つ
5. シンバル
 - シンバルとは
 - 持ち方
 - 基本奏法
 - ロール打ち
6. マリмба
 - マリмбаとは
 - マレットの持ち方
 - 打つ位置
 - 効果的練習法
 - 大きさに慣れる
 - オクターブで打つ
 - 隣同士を打つ
 - 半音階
 - バチを片手に2本持つ
7. その他の打楽器
 - トライアングル、タンブリン(持ち方、打ち方)、マラカス、シェーカー、オーシャン・ドラム、ドラ(タムタム)(打ち方)
8. 打楽器の並べ方
 - 下手コーナーの場合

トロンボーンを置いてトロンボーンから始める! 体全体を使ってテンポは自ら作りだせ! 自分から打ち出し自分の事は自分で責任を持つ。義務をばたせ。それでこそ個性が発揮できる。表現する前に裏面を創り出しあなたそのものを表現できれば、もうあなたは自由になれる。



★PDFファイル収録: 1.打楽器の並べ方① 2.打楽器の並べ方② yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—有賀誠門先生のオリジナル曲

クラリネット

指導: 三界 秀実
東京都交響楽団首席奏者

1. 楽器について
 - 楽器について(構造の説明)
 - 組み立て方&しまい方
 - 手入れについて
 - (スワブの使い方、ジョイント部の清掃、マウスピースの扱い方)
 - リードの扱い方、育て方、保存するときの注意
2. 音を出す
 - 構え方(姿勢、角度)
 - アンブシュア
 - 呼吸法(たくさんの息を吸う)
 - 最初のロングトーン
3. 基本練習
 - 左手人さし指の使い方
 - タンギングなしで音を切る練習
 - アタックの練習方法
 - ロングトーン練習の意義、練習方法
 - スケール練習の意義、練習方法
 - 毎日のウォーミングアップの考え方
4. ステップアップ練習法
 - より高度なロングトーン練習
 - それぞれの音域について(アンブシュアのコントロール)
 - レガートの練習方法

楽器の組み立て方、取り扱い方といった初歩から、音の出し方の基本をロングトーン練習を中心に解説。より高度なテクニックもロングトーン練習を発展させながら伝えることにより、理解しやすくなります。

★PDFファイル収録: 1.音域 2.音階練習 3.スケール リズム練習 4.アタック練習 5.アンブシュアのコントロール/レガートの練習 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲(楽譜)—C.SAINT-SAËNS [Sonata for Clarinet and piano op.167より2楽章]

サクソフォーン

指導: 富岡 和男
洗足学園大学教授 作陽音楽大学講師 日本サクソフォーン協会事務局長

1. 楽器について
 - サクソフォーンとは
 - 楽器について
2. 音を出す
 - 楽器の構え方
 - アンブシュア・リード
 - 呼吸法
3. 基本練習
 - ロングトーン、タンギング、運指
4. ステップアップ練習法
 - エチュード
 - ダイナミック
 - アーティキュレーション
 - スタカート
 - 音程
 - ヴィブラート

サクソフォーン、この輝かしく優美な楽器。正しい奏法を学べば誰にでも美しい音がでて、素敵な音楽を表現できます。必ずエチュードをもって勉強しよう。正確に楽譜を理解し正しく音符を音にすれば、それが自然で素敵な音楽表現になります。

★PDFファイル収録: 練習ポイント等 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—FLORENT SCHMITT [LEGENDE]

ホルン

指導: 堂山 敦史
奏者としても活躍

1. 楽器について
 - ホルンとは
 - マウスピース(何種類か)
 - 手入れ
2. 音を出す
 - 姿勢と構え方(立てて演奏する場合/座って演奏する場合)
 - アンブシュア
 - 口の形、バズィング
 - 呼吸法
 - マウスピースで音を出す
 - 楽器をつけて音を出す
 - 音の発音(アタック)
 - 運指
3. 基本練習
 - ロングトーン
 - 音階
 - リップスラー
 - タンギング
4. ステップアップ練習法
 - 高音の出し方
 - 低音の出し方
 - ダブルタンキング
 - トリプルタンキング
 - ストップ奏法

ホルンを美しく奏するにはまず基礎が必要です。初めてホルンに手にする人にも無理なく習得できるように、やさしく説明していますので楽しく学べます。

★PDFファイル収録: 1.運指 2.ロングトーン練習 3.スケール練習 4.リップスラー練習 5.タンギング練習 6.高音/低音練習 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—HENRY PURCELL [Attempt from Loves Sickness to Fly]

ユーフォニアム

指導: 石橋美奈子
エリザベト音楽大学講師

1. 楽器について
 - 名前の由来
 - ユーフォニアムの歴史
 - レパートリー
 - 楽器の構造、手入れ
 - 「音楽すること」
 - プレーヤーの理想
2. 音を出す
 - 呼吸について
 - アンブシュア
 - マウスピースを当てる
 - 楽器の構え方
 - 最初の音出し
3. 基本練習
 - ウォームアップ
 - バズィング
 - ロングトーン
 - リップスラー
 - タンギング
 - 音階
4. ステップアップ練習法
 - アタックの種類
 - 音域拡大のために
 - プレスコントロール
 - ヴィブラートについて
 - 楽しく上達する

音は目には見えないものです。だからイメージを持つことがとても大切なのです。イメージを頭の中に描くこと—それだけでもう世界が広がるはず。ユーフォニアムの演奏はまずそこから始めましょう。


★PDFファイル収録: 1.バズィング/ロングトーン練習 2.リップスラー練習 3.タンギング練習 4.音階/アタック練習 5.プレスコントロール練習 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—2曲 G.F.HÄNDEL [Lascio pigra], A.MOZART [Sonate für Fagot und Violoncello]

オーボエ

指導: 成田 恵子
神奈川フィルハーモニー管弦楽団

1. 楽器について
 - オーボエとは
 - オーボエの種類
 - 必要な小物類
 - 楽器の組み立て方
 - 手入れの仕方
 - 扱い方
 - 選び方
 - 作り方
2. 音を出す
 - 楽器の構え方
 - アンブシュア
 - 音の出し方
3. 基本練習
 - ロングトーン
 - スケール
 - アーティキュレーションをつける
 - リズムをかえる
4. ステップアップ練習法
 - アルペジオ
 - ハーブ・ホール
 - ヴィブラート

ギネスブックに載る程、コントロールするのが難しい楽器とされていますが、正しい奏法のコツを覚えれば、バロックから現代音楽に至る豊富な音楽において、美しい音色を演奏する幸福感にひたれる非常にやりがいのある楽器です。最終的に楽器を意識しないで、自由におしゃべり表現できるように基本的なことを紹介します。



★PDFファイル収録: 1.音を出す/ロングトーン 2.スケール/アルペジオ 3.オクターブ/レガートがかりにくい 指の練習/ヴィブラートの練習 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—C.SAINT-SAËNS [Sonata for Oboe and piano op.166より2楽章]

トランペット

指導: 杉木 肇夫
教授

1. 楽器について
 - トランペットとは
 - 簡単な金管楽器の歴史
 - コルネットについて
 - トランペットについて
 - ミュートについて
2. 音を出す
 - 楽器の持ち方(コルネット)
 - 構え方(コルネット)
 - 構え方(トランペット)
 - 唇を振動させる
 - 開放
 - 7つのポジション
 - 半音階
 - バズィング練習器具
 - 器具を使う
 - 息について
 - トランペットのメカニズム
 - 自然倍音
 - 音階
 - 中音練習
 - 高音練習
 - 低音練習
 - メロディー
 - スタカート
 - スラー
3. 基本練習
 - 60分の練習方法
 - 演奏のメカニズム
4. ステップアップ練習法
 - 演奏のメカニズム

金管楽器は他の楽器(ピアノ、弦楽器、打楽器)のように音の出る仕組みを目で見ることができない。振動体、舌、息と息の通り道など見えないうえに、どこに音があるのかわからない。目で見えないから、しっかり耳を聞いて音を確かめるのだ。私の先生は、トランペットの音楽は「きれいな心を表現する体内の音楽」であると教えてくれた。



★PDFファイル収録: 1-1.半音階 1-2.音階 3.中低音練習 4-1.演奏のメカニズム 4-2.演奏のメカニズム 5.運指表 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—無し

チューバ

指導: 近藤 陽一 本間 雅智
海上保安庁音楽隊技術指導

1. 呼吸法
 - 複式呼吸の仕組み
 - 複式呼吸の基礎練習
 - 実践練習(速いテンポの曲・ゆっくりな曲)
2. チューバの奏法
 - アンブシュアについて
 - 弦楽器やティンパニーとアンブシュア
 - マウスピースを使った練習
 - 楽器の正しい構え方
 - 実際に音を出してみる
3. 音楽を表現するための技術を身に付ける
 - ロングトーン
 - タンギング
 - スラー
 - インターバル(高音域、低音域)
 - 音階練習

管楽器奏者にとって最も重要な呼吸法。金管楽器に欠かせないアンブシュアについてを中心に、奏法や楽器の取り扱い方を分かりやすく解説し、音楽を表現するために必要不可欠な事項をまとめた構成になっています。

★PDFファイル収録: 1.ロングトーン練習 2.音階 3.スラー/音域を広げる 4.音楽を表現する yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—2曲 G.P.E.BACH[FUGUE], M.P.DeMONTECLAIR[FUGUE]

コントラバス

指導: 永島 義男
教授

1. 楽器を知る
 - コントラバスとは
 - 楽器と弓の状態
 - 楽器の運び方
2. 楽器の構え方
 - 立てて弾く場合
 - 座って弾く場合
 - 弓の持ち方
 - まつやの塗り方
 - 音を出す 基本練習
 - 音質に変化をつける
 - 音色・音量の基本
 - やさしい音色を出したい時
 - 少し音量が必要な時
 - 強い音が必要な時
3. ポジション
 - ハーフ・ポジション
 - 指を強くする練習法
 - 12のポジション
 - ポジション移動
4. ボーイングテクニック
 - アクセントをつけない場合
 - 明確なアクセントをつける場合
 - デタシェ
 - マルテリ
 - レガート
 - スピッカート
 - ピツィカート
5. ステップアップ練習法
 - 「3度」のインターバルと重音
 - 「4度」のインターバル
 - 「5度」のインターバルと重音
 - 「6度」のインターバル
 - 「7度」のインターバル
 - 「オクターブ」のインターバル
 - ヴィブラート

昨今の吹奏楽やジャズ・アンサンブルにはコントラバスが仲間入りしています。これは合奏におけるコントラバスの役割が、いかに重要であるかという証明であると思います。和音が美しく溶け合うことがコントラバスを弾く上で一番大切なことです。音楽全体を考えながら演奏する習慣を身につけましょう。

★PDFファイル収録: 1.インターバルとダブル MEMO.コントラバスミニ知識 yo-go 聴感表 4 模範演奏曲—2曲 J.S.BACH Menuett aus den [Notenbüchern für Anna Magdalena Bach] C.SAINT-SAËNS[ELEPHANT]



使用曲リスト

○フルート
C. DEBUSSY
[Syrinx]

○クラリネット
C.SAINT-SAËNS
[Sonata for Clarinet and Piano op. 167より2楽章]

○オーボエ
C.SAINT-SAËNS
[Sonata for Oboe and Piano op.166 より 2楽章]

○ファゴット
J. S. BACH
[Sechs Suiten für Violoncello solo 第3番より]

○サクソフーン
FLORENT SCHMITT
[LEGENDE]

○トランペット
なし

○トロンボーン
R. WAGNER
[Rienzi, der Letzte der Tribunen]

R. WAGNER
[Ternhäuser und der Sängerkrieg auf Wartburg]

R. WAGNER
[Die Meistersinger von Nürnberg]

R. WAGNER *Walküre*
[Die Walküre] *計5曲*

○ホルン
HENRY PURCELL
[I Attempt from Love's Sickness to Fly]

○ユーフォニアム
G.F.HÄNDEL
[Lascia chio pinga]

A. MOZART
[Sonate für Fagott und Violoncell]

○チューバ
C. P. E. BACH
[FUGUE]

M.P. DeMONTECLAIR
[FUGUE]

○打楽器
オリジナル曲

○コントラバス
J. S.BACH
Menuett aus dem [Notenbüchlein für Anna Magdalena Bach]

C. SAINT-SAËNS
[ELEPHANT]

アンサンブル

○木管五重奏
J.HAYDN
[DIVERTIMENTO~第1楽章]

J.HAYDN
[DIVERTIMENTO~第2楽章]

○フルート四重奏
F.KUHLAU
[QUARTET~第1楽章]

E.GRIEG
[AUS HOLBERG'S ZEIT~第1楽章]~arranged by KANDA

○クラリネット五重奏
ERIK SATIE
[JE TE VEUX] ~arranged by MIKAI

○サクソフーン四重奏
GABRIEL PIERNE
[INTRODUCTION ET VARIATIONS
SUR UNE RONDE POPULAIRE]

ALEXANDER GLASUNOW
[QUARTETT]

○金管五重奏
VICTOR EWALD
[QUINTET 第2楽章/第3楽章]

○トロンボーン四重奏
F.PEETERS
[SUITE TROMBONE QUARTET]

F. SCHUBERT
[LINDENBAUM DER]

V.E.BECKER
[MARSCH]

H.FILLMORE
[SHOUTIN' LIZA TROMBONE]

○打楽器アンサンブル
THOMAS GAUGER
[GAINSBOROUGH FOR PARCUSSION 第1楽章]

◆ 楽器の理解と奏法

計 16 曲

◆ 木管アンサンブル 4 曲 金管アンサンブル 0 曲 計 12 曲

【監修・指導】

フルート 神田 寛明
クラリネット 三界 秀実
オーボエ 成田 恵子
ファゴット 岡崎 耕治
サクソフォーン 富岡 和男
トランペット 杉木 肇夫
トロンボーン 栗田 雅勝
ホルン 堂山 敦史
ユーフォニアム 石橋 美奈子
チューバ 近藤 陽一
本間 雅智
打楽器 有賀 誠門
コントラバス 永島 義男
木管アンサンブル 木管五重奏／神田 寛明
フルート四重奏／神田 寛明
クラリネット五重奏／三界 秀実
サクソフォーン四重奏／富岡 和男
金管五重奏／杉木 肇夫
金管・打楽器アンサンブル トロンボーン四重奏／栗田 雅勝
打楽器アンサンブル／有賀 誠門



【撮影協力】

東京藝術大学音楽学部
株式会社 アクタス

【著作】

東京藝術大学音楽学部同声会

DVD 全14枚(パート別楽器12種類12枚、アンサンブル2枚)

本体価格 238000円(税込)

■このディスクは私的視聴に限り販売されています
したがって著作権者に無断で複製、貸与、放送、レンタル、公の上映などに使用すると法律で罰せられます。
また、ディスクにはコピーガードシステムを使用しております。

●発売元

近江ジャーナル

〒521-1147 滋賀県彦根市薩摩町1318

TEL 0749-43-3279 FAX 0749-43-3279 <https://omi-j.com> 近江ジャーナル